

行く年来る年☆2008年を振りかえって

☆ 第41回はたらくものの音楽祭

5月31日(土) 午後1時30分～6月1日(日) 午後1時まで、秋田市民交流プラザアルヴェきらめき広場で、日音協主催の第41回はたらくものの音楽祭が「集まれ!みちのく平和のひろばへ」をテーマに開催されました。

自治労は『プレゼント』『アジアの風』を松本さんのアレンジで合唱しました。



第41回はたらくものの音楽祭 自治労合唱

☆ 第20回自治労コンサート

音楽祭前日には、自治労青年部主催で第20回自治労コンサートが開催さ



自治労コンサートの司会者谷自治労青年部副部長と秋田の山本志津さん

れ、全国から30人と秋田県本部から多くの観客が参加しました。



細川さん(右)のリードでシングアウト

新春のお喜びを申し上げます

昨年は、秋田ではたらくものの音楽祭に多くの会員の皆様と出演することができました。二〇〇九年は茨城で開催されます。

日常の成果を発表する場として、新生日音協に結集し働くものの文化活動を交流し前進させていきましょう。

自治労音楽協議会会長 磯野 友一

2009年 元旦



狭石啓子、利美さん(東京)のデュエット



西藤さん(滋賀)

♪事務局からの
お知らせ!

みなさまからの投稿をお待ちしております!

E-Mail: jicogawa@jca.apc.org 住所変更は必ずお知らせください!

『自治労音協ホームページ』 URL 先は <http://www.jca.apc.org/~jicogawa/>

『自治労と音楽のページ』 URL 先は <http://www33.ocn.ne.jp/~tmatsu/>

『日本音楽協議会のページ』 URL 先は <http://www.yomogi.or.jp/~uncle/>

◆第16回自治労音協総会報告◆

第16回音協総会は、6月1日音楽祭終了後、プラザアルヴェ内会議室に、23人（委任状34人）が出席した。議長に細川さんを選出した。議長に細川さんを選出した。冒頭、磯野会長からあいさつを受け、07経過報告と08活動方針を松本事務局長より提案。また会計報告と予算案を小川事務局次長が提案した。議事は全員の拍手で承認された。なお、役員の一部に変更があり、北海道は神原さん、九州は欠員となった。

CD作成について、第1次監修での制作状況を桃井さんから報告していただき、今後柔軟性のある収録方法の検討を行うことが提起された。

08年度自治労音楽協議会活動方針（08年5月31日、09年）

1 自治労音楽協議会の組織を確立します

（1）自治労の組合員で音楽活動をしている人々に、音協加入を積極的に呼びかけます。

（2）各県、地連ごとの会員、サークル間の連絡をつくりだすとともに、できるところから県支部を結成します。

（3）幹事会を開催します。

（4）次期総会は、2009年の第42回はたらくものの音楽祭と同時期に開催します。

（5）自治労との組織的

な関係の確立を引き続きめざします。

（6）サークル活動の活性化をめざします。このためにも実態把握のため調査アンケートを引き続き実施します。

2 自治労の音楽・文化事業に協力します

自治労の音楽・文化事業は次のようなものが計画されています。これらに積極的に協力し、会員の参加を呼びかけます。また、さらに音楽・文化事業を拡大するようはたらきかけます。

（1）青年女性中央大交流集会文化班

（2）第26回仲間の歌コンクール（2年に1回、08年集約中）

（3）第21回自治労コンサート。なお、自治労が自治労コンサートを開催しない場合は、自治労音協がこれに代わるものを開催します。

（4）青年女性音楽活動家養成講座は昨年から未開催

3 日音協の活動および事業に協力します

（1）日音協会員加入 年会費1万円 また、08年11月以後、日音協会員で地域支部に所属できない人たちが構成する、日音協自治労音協支部を結成します。

（2）日音協セミナー

（3）ブロック別日音協合宿

（4）第42回はたらくものの音楽祭（09年）

（5）機関紙『音楽運動』のネット会員の拡大

4 各地域で独自のコンサートなどを追求します

当面、広島などで開催している自治労うたごえ祭典を各地に広げるとともに、サークルまたは県単位で自治労音協会員合同のコンサートなどをめざします。

5 自治労仲間の歌CDの作成を継続し販売します



第16回総会であいさつする磯野会長



原佐由理さん（長野）



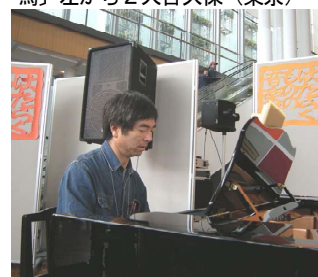
音楽祭エンディング、天羽さんの指揮でインター合唱



コント自衛隊上演、右から田中〔群馬〕左から2人目久保（東京）



自治労発表の練習風景



伴奏する松本さん

第41回はたらくものの音楽祭
トピックス

◆私のギター人生◆

パート5

★フラメンコよ、わよひなろ

狭石 利美(自治労東京都本部)

フラメンコさようなら

フラメンコギターにハマッタはずだったのに、いつしか私はまたクラシックギターに舞い戻るようになった。そしてあのアロンアルファともやっとお別れすることができた。爪を光らせ、知らない人から変な目で見られることもなくなった。決してフラメンコが嫌いになったわけではない。気の多い私にとって、やはりあらゆる音楽が奏でられて、応用範囲の広いガットギターが性に合っていると分ったからだ。フラメンコギターは、踊りの伴奏として発達してきた関係で、厳格なまでに正確なテンポとリズムが要求される。クラシック音楽のように、奏者による勝手なテンポ設定やアゴーギクは許されない。あくまで踊りが中心でギターは「伴奏」なのだ(ただし独奏として演奏する場合は当然この限りではない)。それに比べてガット

歌い手からギター弾きへ

数年間のフラメンコ修行からクラシックに戻り、しばらくたつた頃だった。以前から東京青年文化センター(以下センター)の一員としてアコ教室に通ったり、合唱したりしていた。教室としてはアコだけだったセンターにギター教室を開こう、との話が持ち上がった。それまでのセンターは三池一辺倒で合唱といえど労働歌、歌伴といえどアコと相場が決まっていた。私の立場も、「ギタリスト」ではなくセカンドデナーの「貴重なパートリーダー」(だったかな?)として「活躍」していた。教室を開くとなれば、当然

教えるとは、教わること

さあ、人に教えるからにはい加減なことを教えるわけには行かないぞ」と腹を決め、それまで独学・自己流でやってきた

教える人がいなければ始まらない。「一体誰が教えるんだ」「あんただ」となつて、私が講師をやる羽目になった。確か1974年だったと思うが、滝野川会館のホールで「青年労働者歌声文化の集い」を東大の稲葉三千男さんを講師に迎えてやった。そこでセンターにギター教室を開くデモンストレーションとして、私がギター独奏を披露することになった。タレガの「ラグリマ」を弾いた。労働運動も高揚期で、会場もほぼ一杯だったから4〜5百人はいただろうか(ああ、なんと懐かしいんだろう、こうして書いていると35年も前のことが今鮮やかに脳裏に蘇ってくる)。

若気の至りは時に大きな罪

この間教えられたことを同時

けどこれをいい機会に一度習ってみようかとなった。回りに当時クラシックギターをやっている人はいなくて、ましてプロのギター弾きなど誰も知り合いいない。ちょうど通勤途上で駅から「新堀ギター教室」の看板が見えていた。当時東十条に住んでいたから仕事帰りにちょうどいいと思い、西日暮里の駅のそばにあった教室に行くことにした。「窪田光明」という先生がついて、はつきり言つて特にギターがうまい訳ではなかった(窪田さんごめんさい。でもフラメンコを教えてくれた先輩の名前を忘れてしまったのに比べれば、35年も前にお世話になった先生の名前を覚えていただけでもまだと思いませんか)。週一回のレッスンで授業料は月6千円だったと思う。とりあえず中等科から始め、カルカシの練習曲などをやりながら2〜3ヶ月ほどで卒業し、高等科に進んだ。

教えられる側はこれこそいい迷惑というものだ。何十人というギターに憧れた若者が、センターのギター教室を通り過ぎて行った。あの人、この人と次々と思ひ出す。そして去つていったその何人かは私の教え方によつては、ギターを諦めることなく今もギターを愛し、弾いていたかもしれないのと思うと、自分のしかした大きな罪の意識に今さらながら苛まれる(もう忘れていたのに、こんなこと書いてるうちに思い出し

2008年度自治労音楽協議会 年会費の納入のお願い

2008年度会費は2000円です。

これまでの会費については、4月に郵便振込用紙を送付してありますので、未納の会員のかたは納入してください。労金でも以下の口座で受付けます。

なお納入状況はメールでお問い合わせください。

問い合わせ先 ogawan@ubcnet.or.jp

中央労働金庫新宿支店 普通預金8929145

自治労音楽協議会

郵便振替 00110-8-571236

自治労音楽協議会

*住所変更の場合は必ずご連絡ください。

道楽道

連載その16

「ラオス子ども家」支援

チャリテイコンサートと国民的人気歌手
アレクサンドラ

が出演

白石 孝(荒川区職労書記長)



ラオスの歌姫

アレクサンドラ・ブンスアイ

(慶応大学大学院 22歳)

1「内なる外国」との出会い

私にとっての外国とのお付き合いは、「内なる外国」とからであった。高校2年から3年になる春休みの1968年3月、鹿児島からの定期船に乗って沖縄本島那覇港に降り立った時からだ。最初に感じたのは、それまで体験したことのない「町の臭い」だった。気候、土壌、食べ物などがその国、地域の特徴を現わす臭いになる。

当時の沖縄は「返還」前で、「渡航証明書」という一種のパスポートを取得していないと

「入国」出来なかった。はじめての沖縄で、高校生たちと交流し、嘉手納基地の巨大な軍機に驚き、米軍人向け歓楽街に息を呑み、南部戦跡にショックを受けた。それが私の原体験にもなった。

次の「外国」は、荒川区に就職してから出会った地域に暮らす在日コリアンたちだった。2世、3世になると日本で生まれ、育ったから表面的には日本人と変わらない。しかし、付き合いを続けていくと、そのルーツの違いを感じるようになる。

共通性と相違性の両方を感じることで、交流はより深いところに向かう。交流の継続性は重要である。

どちらかというと「政治闘争偏重」傾向にあった私が、その荒川で文化の奥深さと素晴らしさに出会い、発想の「革命的転換」の契機となったのが、朝鮮

民族の伝統的芸能「農楽」や「シャーマン音楽」を体感した瞬間だった。87年11月、大方の反対を押し切り、在日コリアンの友人と二人で、「荒川の地で、在日と日本人とに朝鮮半島の文化の真髄を伝えたい」と決意し合い、貯金をはたく覚悟で開催したのが、キム・ドクス氏主宰の「サムルノリ」コンサートだった。

結果として、1,120人収容の大ホールに1,500人が詰めかけるビッグコンサートになった。このコンサートを機

に、行政が荒川という地域の一人として朝鮮文化を採り入れるようになった。

以来、タイ社会派音楽界のリーダーグループ「カラワン」、沖縄伝統音楽の実力派「大工哲弘」、韓国東海岸シャーマン音楽の人間国宝「キム・ソクチュル」、在日フィリピン人バンド「ラヒン・カユマンギ」、ラオス国立人形劇団と日本人とのコラボ「チェオボン」などを紹介する活動が続けてきた。

2アレクサンドラ・ブンスアイ

そして来年早々にはラオスの国民的大スターのコンサートが開催される。「アレクサンドラ」は、現在22歳の大学院生だが、高校生から音楽活動を始め、あつという間にラオスのスーパーアイドル歌手になった。

アレクサンドラ・ブンスアイ

これが彼女のフルネーム。ビエンチャン・セカンダリスクールに学ぶまだ16歳の高校生で、父親はラオス人、母親はブルガリア人。父親はブルガリアで音楽教育について学び、現在はラオス国立音楽・舞踊大学の副学長。そして、母親はピアニスト。アレクサンド

ラさんは、3歳で歌とピアノの練習を始めた。教師は父親と母親。彼女はバイオリン演奏も得意で、歌いながらバイオリンを奏でる。今も学校が終わるとバイオリンの練習を最低でも毎日1時間はするという。アレクサンドラさんは、昨年の後半に国立文化センターでコンサートをやってからますますラオスの若者の心をつかみ、スーパースターへの道を歩んでいる。最新のCDアルバム「Dream」も大好評発売中。(03年4月11~17日)

抜粋『バンコク週報』社団法人国際ボランティア会(SVA)八木記

この記事は5年前のものだが、アレクサンドラはここから一気に国民的スターとなり、同年5月19日付け毎日新聞では「今年1月18日、ラオスのサバナケット県の陸上競技場。高校生のアレクサンドラ・ブンスアイさんが舞台上立つと、約3万人の観衆がどよめいた」と報道している。

しかし、彼女はただのアイドル歌手ではない。舞台から「歌は人生を豊かにします。麻薬は人生を破壊します」と麻薬撲滅キャンペーンに関わったり、スポーツ祭典のゲストの時には

「勝っても負けても全力を尽くしたのだから」と歌い、ラオスの自然を大切にしたいエコ・ツーリズムに深い関心を寄せている。

今年4月からは、慶応大学大学院でメディア・デザインを専攻する留学生として滞在している。その彼女をメインとした「チャリテイコンサート」を、新年早々開催することにした。

3「ラオス子ども家」支援

ラオスを深く愛する彼女がサポートするのは、自治労が開設した「ラオス子ども家」だ。きっかけは、彼女の姉妹がラオスで活動している社団法人シャリテイ国際ボランティア会(SVA)が運営する子ども図書館に通っており、その関係から実現した。

子ども家については、95年から03年まで自治労が全面的に運営をサポートしてきたが、以降はSVAが単独で運営しており、財政的に厳しい状況が続いている。一方、この子ども家の活動が全国に波及し、今やラオス全体で30を超える

第44回日音協総会開催

新生体制でスタート
副会長に磯野さん、事務局長に松本さん

11月8日(土)、自治労会館で、日本音楽協議会(日音協)第44回定期総会が開催されました。

日音協は1965年に結成されて以来、労働組合を基本に構成され、したがって労組役員で構成される常任理事会が執行権をもってきました。しかし、以前は総評加盟組織がほとんどすべて会員になっていましたが、労働組合の組織率の減少とともに日音協を離れる組織が増え、ここ10年ほどは、自治労、日教組、私鉄総連、林野労組の4産別労組と私鉄傘下の東武、東急、京成だけになってしまいました。常任理事会を構成する4単産から、労組会員制度とこれを基盤とした常任理事会体制を

終りにすることが提起され、昨年(07年11月)の総会で、1年後の総会で廃止することが決定されました。

そこで、日音協に結集してきた音楽活動家は、08年以後も日音協の組織と運動を継続するために準備会を立ち上げ、全国的な討議を行い、個人としての

会員とその活動の結集体としての支部(各県支部と単産音協支部)によって構成する、新たな日音協が引き継いでいくことを決意し、11月8日の総会で正式に決定されました。これは、日音協の一旦解散、新たな組織の結成だ、という人もいるくらい大きなできごとです。

総会では、多くの発言を受け、はたらくものの音楽祭と機関紙『音楽運動』を柱とし、生活のうた、職場のうた、平和のうたをつくり、うたい、ひろめ、つなぎあう活動を継続すること、労組会員制度を廃止してしる労働組合との連携を強めることなどを決定し、規約を改正しました。

また、第42回ははたらくものの音楽祭を、09年5月9日(土)、10日(日)の日程で、茨城県日立市日立シビックセンターで開催することを決めました。また、会費をひとり年1万円としました。

従来の理事会と事務局に代わる幹事会を選出し、会長には飯

島貞親さん(東京都支部)、副会長には自治労音協会長でもある磯野友一さん(富山県支部)が選出されました。また、自治労北海道の磯野宏之さんが幹事に、自治労岩手の高橋伸明さんが監査に選出されました。

日音協が個人としての会員とその活動の結集体としての支部を基盤とする組織に生まれ変わったのですから、1万円を払って活動を支える会員が増えることなしには、音楽祭や機関紙など活動が続けることができません。従来、自治労が支えているからということで、日音協個人会員にならないで日音協活動に参加されてきた自治労組合員もたくさんいたと思います。が、この際、ぜひ日音協に入会をお願いします。

また、5月31日の自治労音協総会で提案したとおり、日音協各県支部に属していない日音協会員の自治労組合員には、日音協自治労音協支部の結成をお願いしていきます。

「子ども文化センター」(CCC)が県や郡によって開設されている。それだけ影響力を持つ事業を展開しているが、運営費が枯渇すると事業縮小や場合に

よっては閉鎖の危惧すらある。その支援の一助として、自治労の仲間を中心に「子どもの家サポーターの会」を07年発足させ、これまでのラオスツアー参加者を中心に、毎年100万円前後を集め、寄付してきた。今回は、さらに多くの方に子どもの家と子ども文化センターの活動を知ってもらい、支援と交流を広げようということから

「子ども文化センター」(CCC)が県や郡によって開設されている。それだけ影響力を持つ事業を展開しているが、運営費が枯渇すると事業縮小や場合に

よっては閉鎖の危惧すらある。その支援の一助として、自治労の仲間を中心に「子どもの家サポーターの会」を07年発足させ、これまでのラオスツアー参加者を中心に、毎年100万円前後を集め、寄付してきた。今回は、さらに多くの方に子どもの家と子ども文化センターの活動を知ってもらい、支援と交流を広げようということから

コンサートのII部ではラオス交流パーティーを企画している。ラオスの音楽や言葉、文化がベースとなり、ラオスのアイデンティティを表現する素晴らしい音楽になっている。タイポップスとは一線を画すラオスの現代音楽といえる。

4 アレクサンドラとおおたか静流の協力で実現

アレクサンドラとおおたか静流が早く協力してくれ、実現したコンサートだ。当日は、アレクサンドラのオリジナルに加え、日本の歌も数曲歌う予定だ。また、留学生によるラオス紹介や子どもの家からのビデオレターなどの映像も上映する。

ところで、アレクサンドラの歌は、ポップス調やラップ調の普通の歌に聴こえる。しかし、越しいただきたい。

また、07年からは2年連続でタイのテレビドラマに出演し、タイでも人気爆発、特にドラマの舞台となったタイ東北地方(イサーン)やバンコクで東南アジアの小国ラオスの音楽に触れ、国際協力も出来るという今回のチャリティコンサートに、ぜひとも多くの皆さんにお

また、07年からは2年連続でタイのテレビドラマに出演し、タイでも人気爆発、特にドラマの舞台となったタイ東北地方(イサーン)やバンコクで東南アジアの小国ラオスの音楽に触れ、国際協力も出来るという今回のチャリティコンサートに、ぜひとも多くの皆さんにお

また、07年からは2年連続でタイのテレビドラマに出演し、タイでも人気爆発、特にドラマの舞台となったタイ東北地方(イサーン)やバンコクで東南アジアの小国ラオスの音楽に触れ、国際協力も出来るという今回のチャリティコンサートに、ぜひとも多くの皆さんにお

アレクサンドラ チャリティーライブ&トーク



■日時 1月31日(土)

第1部:「スペシャルライブ」午後2時~4時30分

◇出演 アレクサンドラ、おおたか静流

◇ビデオ&トーク(ラオス文化・子どもの家紹介)

第2部:「ラオス交流パーティー」午後5時~7時

■会場 CICA地球ひろば

■主催 ラオス子どもの家サポート会

■チケット3000円【前売り2500円】

申込みSVA FAX:03-5360-1220

*詳細は自治労都本部ホームページをご覧ください。

★<http://tohonbu.jp/>

第20回自治労コンサート

5月30日(金) 6

時30分から8時30分まで、秋田県秋田市・ジョイナス多目的ホールで開催された自治労コンサートには、5県本部、12人が出演した。



桃井さん(茨城) 西藤さん(滋賀) は1面参照

演した。

司会は、自治労本部青年部谷慎也副部長と地元秋田県本部女性部副部長の山本津津さんで進められた。冒頭谷さんから主催者挨拶があり、地元秋田県本部杉原財政局長からコンサートと音楽祭の準備のなかで、多くの音楽仲間と接し、大いに音楽活動に興味をもたれたことが報告された。

コンサートははじめに細川さんのリードで「プレゼント」、磯野さんのリードで「アジアの風」を歌った。

発表では、ウエスト

ピーチ(茨城、滋賀)

ウエストピーチのテー

マ、春に会う君へ、ア

コーデイオン慕情

(詩・曲||ウエスト



山本さん(茨城)

ピーチ)メモリアル・デイ、飲みまくれ!(詩・曲||ウエスト

ピーチ)の4曲を「みなさんこんにちは。毎度おなじみのウエストピーチが2年ぶりに帰ってきました。今回は打ち込みなし、アコギのみという新たな挑戦です。どうなることか、乞うご期待」ということでハッピーな演奏を行った。

山本親広(茨城)さんは、この歌をおくりたい、この道を(詩・曲||山本親広)の2曲を「どーもです。今回はシンプルなフォークスタイルで行きま

す。またアイドル化も目指します。何のこっちゃ。」ということで力強く歌いきった。

久々の登場の吉川 勝(新潟)さんは、命の小鳥、ひらり、さよならの前に(詩・曲||吉川勝)の3曲を心を込めて演奏した。



吉川さん(新潟)

LAKE SIDE
LOVESTORY
(詩・曲||
西藤安彦)
の2曲を、
ビビットを
効かした演

小川典子(東京)さんは、は

奏で聴衆を魅了した。

たらくあなたへ、Sound of Wind

狭石啓子と利美さん(東京)

(詩・曲||小川典子)の2曲を

はデュエットで、しあわせ・

じつくり歌った。また、「自治

愛・真実(詩||星野富弘・曲||

労コンサートも20周年を迎

狭石啓子)、そのままで(詩・

で、感無量です。選挙のテーマ

曲||山崎浩 ねがい(詩||広島

市立大州中学校三年生有志・山

ノ木竹志・曲||たか

だりゆうじ)をさわ

やかな歌声で演奏、

「平和を守るため

に、色々な場で唄い

続けて来ました。世

界に誇れる憲法を守



小川さん(東京)

界に誇れる憲法を守



ブルートレイン佐藤・北山さん(北海道)

り、子ども達に明るく希望に満ちた未来を手渡したいと思ひます。」と訴えた。

ブルートレイン(北海道)は、集まれよ(詩・曲||関克己)、ブルートレインのテーマIII(詩・曲||北山清孝)を2人の息の合ったノリで歌った。

ブービーバンド(北海道)の榊原隆子、桑野功、磯野宏之の3人トリオは相変わらず息の合ったノリと気合で会場を沸かせた。



ブービーバンド(北海道)



第1回はたらくものの音楽祭 自治労合唱(合成写真)

第1回はたらくものの音楽祭